

***会議録**

会議実施日:令和5年9月20日(水) 14:30~15:00

大和市障害福祉センター松風園2F 屋内訓練室&ZOOM で実施

大和市発達支援連携連絡会			
出席者	児童発達支援センター第1松風園(蓮見)、ぴこっと(山田)、はあとふるキッズ大和南(普久原)、サポートセンター花音(佐藤)、大和市障害者自立支援センター(塩原)、大和市教育委員会指導室(片桐)、大和市こども・青少年課(前川、吉川、)、三ツ境支援学校連携支援グループ(川畑)、瀬谷支援学校連携支援グループ(宮脇)、横浜ひなたやま支援学校連携支援グループ(丹)大和市すくすく子育て課発達支援係(有川)、大和市青少年相談室(湯田)、相談支援センター松風園(横山・西田)	欠席者	大和市こども・青少年課(平野) 大和市ほいく課(長田、田沼)、瀬谷支援学校連携支援グループ(山崎)

<議題>

※以下発言者の敬称略

1. 各連絡会からの活動報告
配布資料参照

2. 相談支援ファイル「かけはし」の活用について(蓮見)

○令和5年8月28日、大和市教育委員会指導室、すくすく子育て課、児童発達支援センター第1松風園、相談支援センター松風園(児童部会事務局として同席)、が出席し会議を実施した。

① 相談支援ファイル「かけはし」の説明について

かけはしファイルとは何か、書き方、使い方などの説明は、児童発達支援事業の職員は、児童発達支援事業所連絡会等が主催で勉強会を実施しているので学ぶ機会がありご家族に説明できる状態ではあるが、福祉サービスの利用のない子どもたちの保育園や幼稚園の先生たちやご家族に情報提供をする勉強会などの機会がない現状である。相談支援ファイル「かけはし」は大和市教育委員会が発行しているものなので、説明会の開催を依頼した。より多くの方が見るできるように配信を主に依頼したが、教育委員会としての配信は様々に確認等が必要で令和5年度は難しいことが分かった。令和5年度については別の方法を検討。(令和6年度からについては教育委員会について要検討)

② これまで、日本語版しかなく外国籍の家庭に周知することに難しさがあった。また、外国語の方が自主的に実費で翻訳を頼み、作成している例もあった。教育委員会に日本語版以外にも英語版、スペイン語版、中国語版、など作ってほしいことを依頼した。費用的に全ての翻訳は難しいこと、また、記入欄を翻訳しても外国籍の方は記入をすることが難しいことから、このファイルはどのように使うのか、また何を入れておけば、関係者に子どものことを知ってもらえるかが書かれている用紙を翻訳してもらうことにした。費用的に毎年1~2語ずつで数年かけて行うことになると思われる。(教育委員会にて要検討)

③ 普及について

未就学から就学に向けての場面では活用できるようになってきている。特別支援学級に在籍している子どもたちの保護者が面談などに活用していることもあり、教育委員会が特別支援教育の全体会議などで周知されたこともあって、普及されてきている実感があるが、通常の学級から特別支援学級へ移籍する児童や通常の学級の児童に関しては、普及がされていないのは課題であると思う。今後も教育と福祉が連携し、課題が解決できるようにしたいと考えている。

3. 各機関より情報提供

特になし

以上

次回日時:令和5年12月20日(水)

時間:14:30~15:00

場所:大和市障害福祉センター松風園 2F 屋内訓練室&ZOOM